インタビュー

家族に迎えて

センターから譲渡されたワンコ（ニャンコ）その後、どうしていますか？

のんびり暮らす うにちゃん

京都市南区　日浦さま

オレンジ色の目がチャームポイント☆

リラックスして大あくび

毛布に包まって眠るうにちゃん

現在のご家族とは、令和6年5月に出会い、翌月に譲渡が決定しました。綺麗なオレンジの目をしていることから、名前を「うに」に決定！

後ろ足にハンデがありますが、ご家族が譲渡を受けることを決めた理由は、足のことを気にしていないくらいの元気さに惹かれたことです。トライアルから1週間程度でお家に慣れて、トイレの粗相もありません。

うにちゃんは、おとなしくて甘えん坊で、家具で爪とぎや人の食べ物をとるなどのいたずらもせず、まったく手がかからないそうです。お部屋に階段はありますが、階段に興味はまったく示しません。ただ、ソファベッドがお気に入りで、背もたれを立てていると、そこから飼い主さんのベッドに入り込み、びっくりさせることはあるようです。

今はおやつのスープにハマり、センターにいたときよりも、がっしりと体が大きくなりました。そして、お誕生日に買ってもらった猫じゃらしが大のお気に入りです。毛布にもぐることが大好きなうにちゃんは、広いお部屋でのびのびと、今日もお利口さんに幸せに過ごしています。

犬猫の飼い主さん募集

～新しい飼い主さんになっていただけませんか？～

◀譲渡犬・譲渡猫の詳しい情報はこちらから

センターでは、お世話をしている犬猫の新しい飼い主さんを募集しています。
飼い主さん募集中の犬猫は、ホームページやSNSでも紹介しています。

◎新しい飼い主さんになっていただくための主な条件

- 京都府域にお住まいの成人の方
- ペットが飼える住宅にお住まいの方
- ペットと暮らすことについて御家族の同意が得られている方
- 飼い主として、責任をもって最後までペットと暮らせる方 など

詳細は、センターへお問合せください。

猫の見学会＆ミニセミナー
日時など詳細は愛護センターHPをご確認ください。

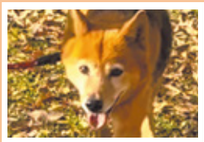
保護犬の譲渡見学会
日時など詳細は愛護センターHPをご確認ください。

京都動物愛護センターマスコットキャラクター 都（みやこ）ちゃん

京都動物愛護センターマスコットキャラクター 京（きょう）ちゃん

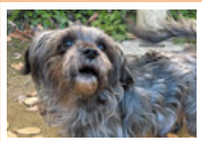
※既に譲渡先が決定している場合があります。

一緒に暮らしませんか？



オドー（推定6～7歳、メス、14kg）

ちゃお（推定3～5歳、オス、5kg）



マーブル（9歳、オス、4.7kg）

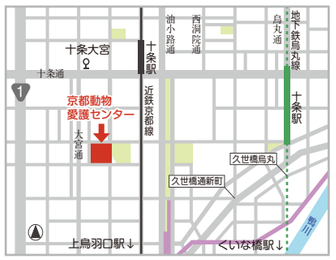
まるる（推定3～4歳、メス、2.8kg）

京都動物愛護センターへのアクセス

- 近鉄十条駅から徒歩５分
- 京都市営地下鉄烏丸線 十条駅から徒歩 15 分
- 京都市営バス 十条大宮停留所から徒歩５分

※無料駐車場はございません。

〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町 11 番地
TEL：075-671-0336
FAX：075-671-0338
開所時間：午前９時～午後５時
休 所 日：木曜日（祝日の場合は翌平日）
年末年始



アクセスしてね！

X（旧 Twitter）　Facebook　Instagram

京都動物愛護センターマスコットキャラクター LINEスタンプ第2弾発売中
▼こちらから

本紙の作成には“京都市動物愛護事業推進基金（人と動物が共生できるまちづくり基金）”が活用されています。動物愛護推進基金に寄附していただいた方のうち、希望者についてはホームページで公開しており、ふるさと納税の適用も可能です。
なお、寄附の方法については、こちらのホームページを御覧ください。
➡https://kyoto-ani-love.com

この機関紙は行政とボランティアが協働で作成しています。

京都動物愛護センター機関紙

愛ランド通信

LINEスタンプ第2弾発売中

令和７年度 春号

――人と動物の共生を目指して――

京都動物愛護センターマスコットキャラクター 京（きょう）ちゃん

センター名 ジジ（下半身不随）

コハルちゃん（右前足欠損）

陽ちゃん（全盲）

特集 ハンデがある子との暮らし

ハンデのある犬・猫との暮らしを想像するとみなさんはどんなことが思い浮かびますか？
お世話が大変と考える人もいるかもしれませんが、実際はどうなのか見てみましょう。
今回、京都動物愛護センター卒業犬のコハルちゃん、卒業猫の陽ちゃんのご家庭にインタビューをしました！

気になる！ 犬・猫のデンタルケア

犬・猫のストレスサイン

インタビュー 家族に迎えて

ハンデがある子との暮らし

野口さん宅 コハルちゃん

負傷犬として保護されたコハルちゃん。ケガがひどく、右前足を切断する手術を受けました。現在は3本の足でとても速く走り、散歩が大好きです。でもアスファルト上の長時間歩行は苦手です。性格は穏やかで素直ですが臆病な面もあります。

冨永さん宅 陽（はる）ちゃん

生まれつき目がなく、全盲の陽ちゃん。明るく陽気な性格で、ゴロゴロ甘えてきたり、扉を開けろと「ぴゃーー」と鳴いたり、唐突におもちゃで遊びだしたりと大変賑やかで、飼い主さんは見ていて飽きないそうです。

引き取ったきっかけ

先住犬が亡くなり、次はどんな犬でもいいと思い譲渡を申込みました。若いミックスの中型犬を希望していて、条件に合ったのがコハルちゃんでした。選ぶ際にハンデの有無は関係なかったです。

生まれつき両目が見えないですが、大変懐っこく、撫でられると全身で喜びを表現する子で、幸せな子だな、この子がお家にいたら楽しくなるだろうなと思い引き取ることにしました。

お世話で気をつけていること

体重コントロールに気を付けています。また、足の負担の少ない所を選んで散歩しています。自然の多い所では草の上に寝転んで全身で喜んでくれます。前足が一本ないからしんどいだろうという人間の不安より、犬が散歩したいという気持ちを優先するようにしています。

我が家にもすぐに慣れ、拾い食いやいたずらもしないため特に制限なく自由に過ごしてもらっています。黒猫で両目がないと暗闇だと姿が全く見えないので暗いところを歩く際は注意していますが、普段の生活では特に苦労はなく、他の猫と同じようにお世話をしています。

ハンデについて思うこと

よく「かわいそう」「頑張ってるね」と声をかけてもらいます。そういう時、足が一本ないということはそう思われるんだなと感じます。コハルちゃんは前足が一本ないというわかりやすいハンデですが、保護犬に限らず、見た目だけではわからないハンデや病気を持った犬たちは多いので、特別にハンデがあるとは思ってはいません。

考えていたよりも生まれつき両目がないことはハンデにならないのだと思いました。階段も器用に上り下りします。引っ越しをしても、次の日には問題なく新居を歩き回っているのには驚きました。ハンデの有無に限らず、その子に向き合い、必要な知識を得る努力をし、その子の個性や状況に合わせた飼養環境を考え続ける覚悟が必要だと思います。

読者に伝えたいこと

動物は強いです。残された体の機能でウィークポイントを補って生活しています。その強さを日々の中で教えてもらえる面ではハンデのある犬との生活はとても意味のあることだと思います。

生まれつき両目のない陽ですが、口内炎治療のため全抜歯し、歯もありません。さらに個性的になりました。それでも毎日幸せそうです。陽を迎えて、家が一層明るくなりました。

インタビューしてみて、私たちはハンデと呼びますが、動物たちはハンデとは感じていないのかなという印象を受けました。
ハンデの度合いによって飼い主さんのフォローが必要な場合もありますが、
飼い犬・猫の気持ちを尊重して寄り添ってあげることが大事だと感じました。
みなさんはインタビューを読んでどう感じましたか？何か発見があると嬉しいです。（大森 & K）

センターにいるハンデがある子たちも紹介します（小島 & 伊藤）

人懐っこく撫でられるのが大好きです

ねずこ（猫エイズ）

猫エイズとはFIVと呼ばれるウイルスにより発症する感染症で、免疫不全になることで全身に様々な症状を引き起こします。ウイルスを完全に排除できないので、感染するとFIV陰性の猫との隔離が必要になります。ねずこは現時点では無症状のため治療の必要はありませんが、発症すると通院や投薬の必要がでてきます。

陽気な性格で、他の犬や人とも仲良しです

トニー（膝蓋骨脱臼）

膝蓋骨が正常な位置から外れてしまう状態のことを膝蓋骨脱臼と言います。小型犬に多くみられ、トニーも痛み等で足を上げたりふらつきがみられます。飼育の際は、体重管理や運動の制限、滑らない床にする等足に負担がかからないような工夫をしてあげましょう。症状によっては手術を勧められる場合があります。

人懐っこく、ごはんを食べるのが大好きです

ジジ（下半身不随）

ジジは怪我をして動けなくなったところを保護されました。下半身不随で、自力で排泄することが出来ないため、毎日の補助が必要です。また、後肢をひきずるので、摩擦などで怪我をしないように環境を整えてあげましょう。健康な猫とくらべると膀胱炎や腎臓病などの病気のリスクが高いと考えられるので注意が必要です。

犬・猫のストレスサイン

新年度、学校や職場などの環境が変わると誰でもストレスを感じる場面がありますよね。
人と同じように、もしかしたら犬・猫も何かにストレスを感じていることがあるかもしれません。
ストレスサインや原因、解消法にどんなものがあるか一例を見てみましょう。

どんなストレスサインがある？

犬・猫が出すストレスサインは様々なものがあります。犬・猫に共通する行動には、体をしきりに舐める・噛む、食べすぎたり、逆に食べなくなるといった食欲の変化、人や他のペットに対して急に攻撃的になる、人のいない場所や同じ場所に隠れるといったものがあります。その他に犬の場合はしきりに吠える、低いうなり声を出していたらストレスを感じているサインである可能性があります。猫の場合は、トイレ以外の場所で排泄することはストレスサインの一つであると考えられます。

考えられるストレス原因は？

ストレスの原因としては、運動不足、引っ越しや新しいペット等の環境の変化等があげられます。また、猫についてはトイレの砂の種類や場所が変わるとストレスと感じることもあります。

運動不足　環境の変化

飼い犬・猫をよく観察してストレスの原因を見極めましょう！

ストレス解消方法は？

Point 1　適度な運動
散歩の時間を増やしたり、ドッグランで自由に走らせたりする。猫じゃらしのようなおもちゃを使って遊ぶ。

Point 2　飼い主とのふれあい
スキンシップやマッサージをすることで安心感を与える。

Point 3　安心できる環境を整える
クレートやケージを活用し、落ち着けるスペースを作る。キャットタワー等の高い場所や狭いスペースを用意する。

人間と同じように、犬・猫にもその子にあったストレス解消法があります。
日頃からコミュニケーションを取り、どんな性格の子なのかをしっかり理解することが大切です♪
解決しない場合は、専門の獣医師やトレーナーに相談しましょう！

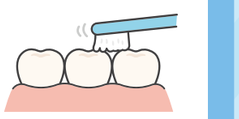
気になる！ 犬・猫の歯周病とデンタルケア

ペットのお口が臭ったり、歯ぐきから血が出たりしていませんか？
ペットのお口トラブルは、おもに歯周病が原因です。毎日のホームケアで健やかな暮らしを守りましょう！

やってみよう♪

基本の歯ブラシトレーニング

1. 指で口まわりを触ります。軽く触れるだけでOK！
2. 好物を塗った指で歯に触ります。ペット用の歯磨きジェルが便利です。
3. 歯ブラシで1回だけ歯に触ります。歯ブラシを怖がるときは「見せるだけ」から始めましょう。
4. 一本の歯を数秒ブラッシングします。犬歯からはじめるとスムーズです。
5. 歯の裏をブラッシングします。対角から歯ブラシを入れて磨きます。



自分の10分の1くらいの力で優しく磨いてね

デンタルケアしないと・・・

犬や猫も歯周病になり、次のような症状が出ます。

- 強い口臭
- 歯肉の炎症
- 歯が抜ける（重度）
- 顎が折れる（重度）
- 心臓病や肝臓病のリスク

治療には全身麻酔が必要になることもあり、高齢では対処が難しくなるケースもあります。

ワンポイントメモ

歯周病予防には歯ブラシでブラッシングするのが効果的ですが、難しければ歯磨き用の布や和紙、サプリメントなども試してみましょう。また、固い骨やひづめなどのおやつは、歯が割れたり折れたりすることもあります。歯石が気になるときは早めに獣医師に相談してくださいね。